

ダム等管理フォローアップ

# 意見を受けての報告書修正対応表

【大滝ダム 事後評価】

平成29年12月

紀の川ダム統合管理事務所

## 【大滝ダム】

### 1. 事業の概要

特になし

### 2. 大滝ダム建設事業の事後評価

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
2.1 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化  概要版P.10～15	・治水安全度の上下流バランスを図りながら整備を実施し、大滝ダムの洪水調節容量を最大限活用させることにより下流の流量低減を図るべきである。	・大滝ダムの洪水調節容量を最大限活用するため「下流の河道整備の進捗に伴い最大2500m <sup>3</sup> /s放流まで順次、最大放流量を見直ししていくこととしている。	・今後、国・県・市町村等関係機関との調整の上、上下流バランスを考慮しながら大滝ダムによる洪水調節機能が適切に発揮するよう放流量の見直しを実施したいと考えている。